

◎創世記18章を振り返りましょう

◎創世記19：1－11を読みましょう。

1. 二人の御使いは、何をするためにソドムに来たのですか。
2. 「門のところに座っていた」とは、ロトがその町でそれなりの地位にあったと思われます。ソドムの影響の中にいたロトは日々何を感じていたのでしょうか（Ⅱペテロ2：7、8）。
3. ロトは、二人の御使いに対してどんな態度をとりましたか。それはなぜですか。
4. ソドムの住民は、二人の御使いに対してどんな態度をとりましたか。それはなぜですか。
5. ロトは、二人の御使いを守るためにどんなことを考えましたか。
6. 二人の御使いは、そんなロトに対してどんな態度を示されましたか。

◎創世記19：12－29を読みましょう。

7. 二人の御使いは、ロトにどんなことを告げましたか。
8. ロトからそれを聞いた人々は、どんな態度をとりましたか。
9. 町を出て行くことをためらっていたロトを、御使いはどうしましたか。
10. 御使いは、「いのちがけで逃げなさい。…」とは何を意味していますか。
11. ロトは、その命令に対してどう応えましたか。また、御使いは、どう応えましたか。
12. ソドムとゴモラの上に硫黄の火が降りました。それはどんなことを意味していますか。
13. 29節の「神はアブラハムを覚えておられた。」とは、何を表わしていますか。
14. 私たちもどうして救いにあずかったのですか（ヘブル5：7、7：25、Ⅰヨハネ2：1、2）

* 終わりに、今日の学びのタイトル（主題）を考えてみましょう。

『

』